

公益財団法人 8020 推進財団	
平成30年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	障がい者歯科診療事業の一環としての障害者摂食機能療法の普及事業
2. 申請者名：	公益社団法人東京都足立区歯科医師会
	代表者氏名 湊 耕一
	担当者氏名 横田 祐司
3. 実施組織：	事業実施者：公益社団法人東京都足立区歯科医師会 協力団体：日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座
4. 事業の概要：	<p>本事業は、足立区内の歯科医療従事者に対し、障害者の摂食機能療法に関する知識と技能を普及することを目的として行う。その結果として、障害者の摂食機能療法に関する知識と技能を有する歯科医療従事者が地域に増えることにより、障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられるようになることを効果として期待している。</p>
5. 事業の内容：	<p>事業実施者である公益社団法人東京都足立区歯科医師会は、口腔保健センター（以下、当センター）を併設しており、専門医の協力の下、会員が障害児の歯科診療を行っている。近年、障害児の摂食機能療法に対するニーズが高まり、当センターにおいても摂食機能療法を行うに至った。</p> <p>しかしながら、当センターにおける対応数は限られており、多くの障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられるようにするためには、区内に摂食機能療法に関する知識と技能を習得した歯科医療従事者を増やす必要がある。</p> <p>そこで前年度に引き続き今年度は、協力団体である日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座の協力の下、以下の事業を行った。</p> <p>①障害者の摂食機能療法に関する研修会の開催 ②障害者の摂食機能療法の見学会及び実習の開催 ③第35回日本障害者歯科学会参加（東京）</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>前年度は、公益財団法人8020推進財団の歯科保健活動助成交付事業からの助成を得ることができ、当センターにおける新規事業を立ち上げることができた。今年度は、継続事業3年目と最後の年となった。診療体制もある程度確保することができ、患者のアポイントも予定数を満たすまでになった。さらにこれまでの成果を、平成30年第35回日本障害者歯科学会学術大会にて「某口腔保健センターで対応によって偏食傾向が改善された症例」としてポスター発表を行うことが出来た。</p> <p>今後の課題としては、システムのさらなる充実と、研修会の定期開催の継続、専門書籍や視聴覚教材の導入等による教育環境の整備、並びに、スタッフ教育等による診療体制の強化があげられる。そして、この事業の更なる継続により、「多くの障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられるようにする」という目標に向けて、摂食機能療法に関する知識と技能を習得した歯科医療従事者を増やしていきたい。</p>